

# 提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午後】
部 会 名	小学校 生活部会

## 1 提案テーマ 『 野菜作りを通して、気付きの質を高める学習活動 』

## 2 単元(題材) 野さいをそだてよう ～ぐんぐんそだて わたしの野さい～

## 3 学年 第2学年

## 4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

②一人ひとりの児童自身の気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための授業展開の工夫・改善

## 5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第5節 生活 第2 各学年の目標及び内容 [第1学年及び第2学年] 2内容

(7) 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

## 6 実践に向けての課題意識

2年生の子どもたちが、1年間を通して自分と身近な野菜を育てることにより、その活動の中で、初めて知ったこと、気付いたこと、発見したことなどを友達と情報を交流しながら、植物についての理解を深めたり広げたりするのではないかと考え、この単元を設定した。

## 7 実践の概要

○言語活動の充実について

- ・夏野菜と冬野菜を育てる過程で、子どもたち同士で気付いたことを交流したり、観察カードに記録したりすることを通して、児童一人ひとりの気付きを全体で共有し、次の活動に生かした。
- ・野菜を世話する中で生じた児童の疑問を授業の中で取り上げ、実際に野菜が成長する過程を通して五感を使って感じたことをその都度、意見交換し、自分が育てている野菜への思いを高めた。

○指導方法の工夫

- ・「どうしたら、野菜が元気に育つか」をテーマに子どもたち同士で互いにかかわりあいながら野菜の世話を継続して行った。また、身近な野菜に親しみをもち、野菜への興味・関心を高められるような場(朝の会のスピーチなど)を設定した。
- ・野菜の成長の様子に、より詳しく気付くように、予想を立ててから観察するようにした。

○評価の工夫

- ・ふりかえり観察カードに、育てた野菜の成長の様子をその都度記録した。

## 8 成果と課題

○児童は、1年間を通じて、身近な野菜を継続して育てたり、観察したりする中で、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くことができた。また、給食の野菜(食材)に興味をもつなど、野菜を身近なものとして感じられるようになった。

○児童は、野菜の種まき・発芽・開花・結実の一連の成長過程を直接体験することで、野菜の育つ様子に気付くことができた。

○観察を通しての子どもの気づきやつぶやきを、次時の学習活動に十分に生かすことができなかった。

## 9 予想される協議の柱

- ・栽培活動を通して、児童の気づきや思いを高める指導の手立てと児童の見取りについて。